

## 9 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和2年9月3日（木）
- 2 開 催 場 所 新館9階 191 会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、廣岡委員、播委員、坂元委員、土屋委員
- 4 出席した職員 高井教育総務部長、山本教育指導部長、  
吉田教育総務部次長、杉本教育指導部次長、  
神吉教育指導部学校教育担当参事、  
稲岡教育総務課長、岸田学務課長、  
福島社会教育・スポーツ振興課長、  
松尾学校教育課長、今津青少年育成課長、  
加藤教育研究所長、中塚中央図書館長、  
中川教育総務課副課長、岡本教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 4 人
- 6 議 事 の 要 旨
  - 開 会 午後2時00分
  - 会議録署名委員指名のこと  
土屋委員に決定
  - 7月臨時教育委員会及び8月定例教育委員会の会議録報告承認のこと  
(事務局から会議録朗読報告)  
承 認
  - 会議公開の可否決定のこと  
全ての議事を公開することに決定

(報告事項)

1 加古川市立別府中学校給食配膳室整備工事におけるアスベストの対応について  
(教育総務部次長から説明)

委 員 : アスベストの含有が設計図書に反映されていなかった原因は市と業者のどちらにあるのか。

事務局 : 業者から市の担当者に対しては、アスベスト含有についてメールでの報告はあった。しかしながら、成果物である報告書には記載されていなかったことから、業者に瑕疵があると考え。一方で、市も報告書の確認ができていなかったことに対して責任があると考え。

委 員 : 撤去されたコンクリートを搬出した段階ではアスベストの含有がわかっていたと思うが、どこへ運ばれて、どのように処理されたのか把握しているのか。

事務局 : 通常時に利用しているコンクリート処理施設に搬入したが、アスベストの含有が判明したことから追跡調査し、適切に処理する予定である。

委 員 : 最後まできちんと見届けていただきたい。

委 員 : 8月19日に判明してから8月26日の調査まで時間がかかったのはなぜか。

事務局 : 事実確認等の調査に時間を要したためである。

(専決報告)

1 加古川市心身障害児適正就学指導委員会委員の解嘱及び委嘱について  
(教育指導部参事から説明)

承 認

委 員 : 委員会と保護者の意見が異なったときは、どのようにすり合わせをするのか。

事務局 : 委員会による進路先の判定は強制するものではなく、最終判断は保護者が行う。委員会の判断と保護者の希望が合わない場合は、保護者と十分話し合った上で、納得できる進路先を決定する。

委 員 : 教員を委員に委嘱する際には条件があるのか。

- 事務局：特別支援教育に見識が深く、職務として関わっている方を中心に選出している。
- 委員：インクルーシブ教育の広まりにより、以前と比べて普通学級を選択する児童は増えているのか。
- 事務局：普通学級を希望する保護者が増えている。市内小学校では、医療的ケアが必要な児童が1名在籍している。保護者の間にもインクルーシブ教育が浸透しており、学校は受け入れ態勢を整える必要があると考える。
- 委員：条例では委員22人以内となっているが、施行規則では18人となっている。実際には18人で構成されているのか。
- 事務局：そのとおりである。
- 委員：小学校1年生の就学が問題となる。幼稚園等の先生の意見は調査段階でどのように確認するのか。
- 事務局：調査を行う委員が幼稚園等に行き、幼稚園教諭等の意見や保護者の意向を確認している。
- 委員：保護者と委員会の意見の相違はどの程度あるのか。また、増えているのか。
- 事務局：4・5年程前は、委員会で判定された進路先に行く児童は約78パーセントだったが、去年は約85パーセントとなっている。これは、保護者、学校、児童での十分な話し合いにより進路先を決定してきた結果だと考える。

2 加古川市少年補導委員の解嘱及び委嘱について  
(教育指導部参事から説明)

承認

3 加古川市少年補導委員の委嘱について  
(教育指導部参事から説明)

承認

(協議事項)

1 令和2年度9月補正予算に係る意見について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：公立学校施設整備費の国庫補助金の二重計上分の減額は、令和元年度中に交付決定があったためという理解でよいか。

事務局：国の予算措置の時期が不明であったことから、国庫補助金を受け入れるために令和元年度補正予算と令和2年度当初予算両方に予算措置が必要だった。結果として、令和元年度3月補正予算での採択となった。

委員：特別支援学校運営管理事業について、特別支援学校において、端末を貸し出すための機器を揃えることに対する予算なのか。

事務局：GIGAスクール構想において1人1台端末を整備するにあたり、障がいのある児童生徒が端末を使用するための補助的な機器の整備に対する予算である。

委員：大型掲示装置は各教室に配置されるのか。

事務局：普通教室、少人数教室は全ての教室に設置する。特別教室は学校規模と既存のモニター数を考慮し、設置していく。

委員：各教科で使う教室には1台は設置されるということか。

事務局：そのとおりである。

2 加古川市立学校校区審議会委員の委嘱又は任命について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：校区のねじれの問題に関しては、今後はどのように考えていくのか。

事務局：平岡中、平岡南中学校については、通学距離の関係で校区が分かれてしまう。同じ地区で人数が偏った場合は、選択制としている。校区のねじれの問題に関しては、保護者や地域からの変更への積極的な意見がなければ、校区を大きく変更することは難しいと考えており、地域に議論していただくよう投げかけているところである。

委員：学校運営協議会を中心に学校と地域が連携していく中で、ねじれがあることで、子どもたちに影響が出ないように考えていく必要がある。例えば、学校同士が交流して様々な取組ができればよいのではないかと考える。

3 令和3年度使用教科用図書採択結果及び採択理由について  
(教育指導部参事から説明)

原案可決

4 令和3年度加古川市立加古川養護学校高等部第1学年の募集定員について  
(教育指導部参事から説明)

原案可決

委員：現在の希望人数を教えてください。

事務局：加古川養護学校中学部3年の生徒は4名在籍している。現在、市内中学校の特別支援学級の肢体不自由児及び高砂市、播磨町、稲美町からの進学希望はない。

教育長：この人数で定員を確保しておけば、追加希望があっても受入れできると考える。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

10月1日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 令和2年第5回市議会(定例会)における代表質問について

9月9日(水)に代表質問があり、教育委員会関係では、玉川英樹議員から、大項目「学校園における新型コロナウイルス感染症対策について」のうち、「学校教育の進捗状況について」「体験学習や部活動について」「欠席児童生徒の対応について」「教職員の負担軽減について」、中村亮太議員から、大項目「小中学生の今後の学びについて」のうち、「習熟度について」「行事について」、岸本建樹議員から、大項目「コロナ禍から安心の教育環境の学校を求めることについて」のうち、「OECD各国から遅れている、少人数学級を求めることについて」「密集、密接の状況にある大規模校の解消を求めることについて」「少人数学級を求める文科省の調査結果と両荘地区での小中一貫校決定について」「学校で安心して飲める飲料水等の整備について」の質問が予定されている。

(2) 令和2年第5回市議会（定例会）における一般質問について

9月10日（木）、11日（金）に一般質問があり、教育委員会関係では、山本一郎議員から、大項目「子ども目線での学校生活について」のうち、「コロナ禍における学校生活の現状について」「熱中症などの安全対策について」「学校生活の思い出のあり方について」、井上恭子議員から、大項目「不登校児童生徒、フリースクールや民間施設への支援の在り方について」のうち、「本市の民間施設に関するガイドラインについて」「当事者や家族及びフリースクールやその他、民間施設への支援について」「ICTによる学習活動を出席扱いにすることについて」「不登校を経験した生徒への進学支援及び就職支援の在り方について」「新型コロナウイルスが不安で登校できない児童生徒への対応について」、桃井祥子議員から、大項目「性的マイノリティに対する支援施策の推進について」のうち「学校現場での性的マイノリティへの理解を深める取り組みについて」の質問が予定されている。

(3) 「少年の主張」東播磨会議について

8月9日（日）に「少年の主張」東播磨会議が開催された。3市2町の中学生が参加し、浜の宮中学校の生徒2名が金賞、銀賞をそれぞれ受賞した。近年、中学生のプレゼンテーション能力が向上しており、日ごろの教育の成果が表れてきている。

○教育委員諸報告

〔坂元委員から〕

(1) 女性教育委員の会について

女性教育委員の会は廃止となる方向であるが、毎年の研修については、有意義であるため何らかの形で継続することを今後検討することとなった。

(2) 日岡山学校給食センターについて

最新の設備を見学し、衛生管理などに感心した。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 就学援助の認定及び家庭学習支援一時金の支給について

小中学校児童生徒に対する就学援助の認定を行った。

また、小中学校の就学援助認定者及び加古川養護学校に在籍する市内在住の幼児児童生徒の保護者に対して家庭学習支援一時金を支給した。

委 員 : 新型コロナウイルス感染症で収入が激減した人に対してはどのような対応をしているのか。

事務局 : 昨年度は一定の収入があったが、今年度に収入が減少した人に対しては、以前より柔軟に申請の受付を行っている。収入の激減による申請はわずかであり、大きな混乱はなかった。

(2) 日岡山学校給食センター供用開始に伴う中学校給食の開始について

日岡山学校給食センターの供用開始に伴い、9月1日(火)から市内6中学校の給食を開始した。

以上、2件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 社会教育委員会議の開催について

8月27日(木)に、令和2年度第2回社会教育委員会議を開催した。

(2) 「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(第4版)」の策定について

令和2年8月11日(火)に「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(第4版)」を策定した。

以上、2件について報告

○ 閉 会 午後3時30分